

## 令和5年度第3回草加市立図書館協議会会議録（概要版）

- 1 開催日時  
令和6年2月8日（木）午前10時から正午まで
- 2 開催場所  
草加市立中央図書館 4階多目的ホール
- 3 出席者の氏名
  - (1) 委員 9人  
青柳伊佐雄委員長、橋本奈津子副委員長、帆玉敬一委員、宇田川直孝委員、田原節子委員、小林光雄委員、仲村圭子委員、渡邊恒一委員、加藤範子委員
  - (2) 事務局 7人  
伊藤教育総務部副部長、鈴木中央図書館長、伊藤副館長（兼）奉仕資料係長、松本副館長（兼）庶務係長、長澤専門員、鎗田主事、久田主事
- 4 議事
  - (1) 第二次草加市子ども読書活動推進計画案のパブリックコメント結果報告について
  - (2) 令和6年度中央図書館運営方針案及び事業計画案について
  - (3) その他
- 5 公開・非公開の別  
公開
- 6 傍聴者数  
なし

## 7 審議の概要

- (1) 第二次草加市子ども読書活動推進計画案のパブリックコメント結果報告について  
「資料1 第二次草加市子ども読書活動推進計画案に係るパブリックコメントの実施結果について」及び「資料2 第二次草加市子ども読書活動推進計画案のパブリックコメントにおける意見に対する考え方について」を用いて説明を行う。
- (2) 令和6年度中央図書館運営方針案及び事業計画案について  
「資料3 令和6年度中央図書館事業計画（案）について」「資料4 令和6年度中央図書館事業計画（案）の修正箇所について」を用いて説明を行う。
- (3) その他  
第二次草加市子ども読書活動推進計画策定に向けた今後のスケジュールに関する補足説明。  
現在の委員の任期が令和6年5月31日である旨、令和6年度第1回図書館協議会は令和6年7月11日に開催する予定である旨、説明。

## 8 主な意見

- (1) 第二次草加市子ども読書活動推進計画案のパブリックコメント結果報告について
  - 毎回、計画が改正されても中身がほとんど同じという感じがする。もう少し市民にとって図書館が身近になるような計画があるほうが良い。
  - ボランティアネットワークの構築については賛成。多くの市民の巻き込んだ計画を推進するという観点から計画のPRを行ったほうが良いのではないかと。
  - 草加は図書に関するボランティア活動が活発な地域だと感じている。計画を周知し、計画の中身を充実させる方向で図書館運営を進めていただきたい。
- (2) 令和6年度中央図書館運営方針案及び事業計画案について
  - 市長は「こどもまんなかそうか」という方針を表明しているが、そのような中で第二次子ども読書推進計画が始まる年に財源が削減されるのは説明不足である。図書館や市民ボランティアに「こどもまんなかそうか」の目指すところや実施内容を示し、その財源を与えるべき。
  - 小学生へのサービスと同様に中学生にも調べ学習の資料の貸し出しやパスファインダーの提供を行うのはどうか。
  - 子どもたちの意見を吸い上げる取り組みをしてはどうか。また、図書館が子どもの居場所になるような取り組みをしてはどうか。
  - 市立の建物であればどこでも返却できるなど、サービスポイントをもっと増やすことはできないか。

○レファレンスカウンターは大人用のフロアに設置されているが、児童室カウンターにも夏休みなどに相談にのってくれる人がいるなどすれば、図書館がより身近になるのではないか。

○児童サービスの推進として、人形劇や舞台を入れてもらうことは難しいか。本を読みたいというきっかけにもなるものかと考えている。

### (3) その他

○子どもの興味が多様化している割には図書館の書棚に並んでいる本は昔からそんなに変わっておらず、課題であると感じた。

○こどもまんなかそうかの計画を推進するような集合体でありたいと思う。

○ボランティア同士がつながっていけば大きな力にもなっていくのかなと思うので、縦と横のつながりが必要であると感じた。